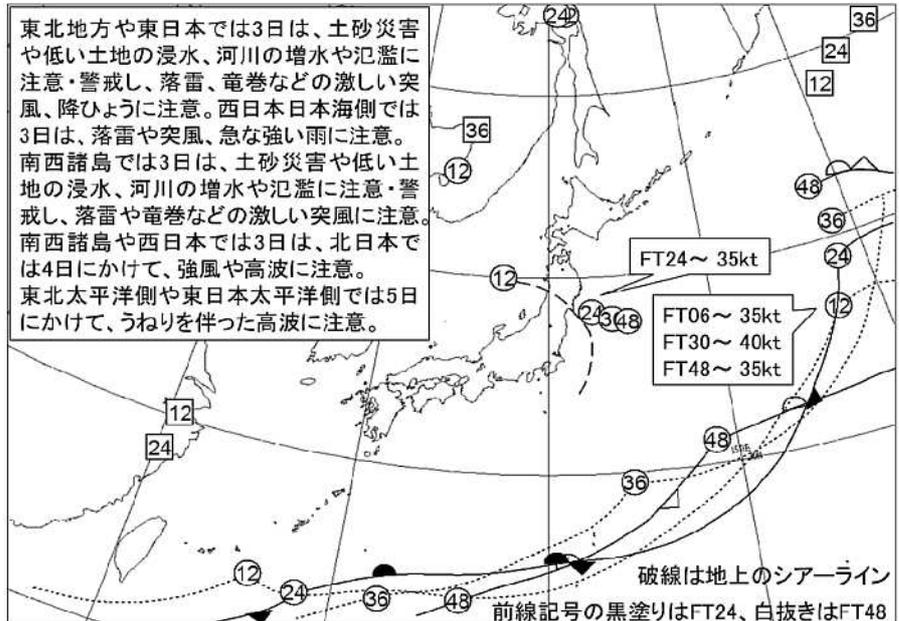


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5580m 以下の -18°C 以下の寒気を伴う寒冷渦が日本海をゆっくり東進、対応して低気圧が日本海中部を東北東進し、低気圧からシアーラインが北～東日本にのびている。北～東日本では、湿った空気が流入し、大気の状態が不安定となっており、日本の東では1時間に30mmの激しい雨を解析。
- ② 先島諸島付近には前線を伴う低気圧があつて、東進。前線や低気圧に向かって南から下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となっており、先島諸島の近海では1時間に30mmの激しい雨を解析。メソサイクロンを検出。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項①の寒冷渦は、3日は北日本へ進み、動きが遅くなる。寒冷渦に対応する低気圧は、3日は日本海で動きが遅くなり、この低気圧からのびるシアーラインが北～東日本を通過する。この低気圧は日本海で次第に不明瞭になるが、3日夜までに三陸沖で別の低気圧が発生し、4日にかけてゆっくり東進する。上空の寒気と低気圧やシアーラインに向かって流入する湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。東北地方や東日本では3日は、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。西日本日本海側では3日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ② 1項②の低気圧は、3日は沖縄の南を東南東進。前線や低気圧に向かって850hPa θ e345K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。南西諸島では3日は、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。低気圧や前線と華中付近の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。南西諸島や西日本では3日は、強風や高波に注意。
- ③ 2項①の低気圧と千島の東に中心を持つ高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。また、日本のはるか東から千島の東に進む低気圧周辺からのうねりも加わり、波が高くなり、しけとなる所がある。北日本では4日にかけて、強風に注意。東北太平洋側では5日にかけて、東日本太平洋側では4～5日は、うねりを伴った高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠] ①大雨ポテンシャル(06時から24時間): 多い所(100mm以上)はない。②波浪(明日まで): 東北4、関東・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無 「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を5時頃発表予定。